

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○子どもたち一人ひとりがかがやき、認め合い、伝え合い、高め合う子を育てるために、活力と魅力にあふれた学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの子どもが、学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの表現を大切にしながら学力の向上を図ります。 ・一人ひとりの子どもが、自己有用感をもち、安心して、楽しく学校生活が送れるようにします。 ・健康な心身をつくるための生活習慣が形成できるようにします。 ・まちの「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、まちを愛する心を育てます。 ・小中一貫教育推進ブロックや家庭・地域と連携し、社会・地域の要請や信頼に応えた学校づくりを進めます。 ・全教職員が学校経営に主体的に参加し、活力のある学校づくりを推進します。 	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		全教育活動において、自他の見方考え方を尊重し、よりよい人間関係を築こうとする心情や態度を育てるとともに、子どもの自尊感情、自己有用感を育てる。	①「あいさついっぱいみんなが笑顔の西本小」をスローガンに掲げ、年間を通じて「あいさつ運動」を展開し、自ら進んであいさつできる子を育成する。②全校縦割りによる「なかよし班活動」を取り入れ、異学年の中で互いに認め合える心を育成する。③道徳の時間はもとより、全教育活動を通じて、自他の見方や考え方を大切にする態度を育成する。
担当	人権・福祉・児童指導部		

2 児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

明るく活動的な児童が多く、学習や行事、地域での活動に素直に取り組み、達成感や充実感を得たり、ともだちと協力することに楽しさや意味を見出している。しかし、あいさつも含め、人とコミュニケーションをとることが不得手な児童も多く、互いのよさを認め合い豊かなかわりを育むことが苦手な児童も多い。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

<p>指針1 「道徳の時間」の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育との関連の促進 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、各学級の道徳の時間との関連を図り、体験や生活経験を生かした指導を行う。 ・全学級の道徳の授業を、家庭・地域に公開する。(年に1回以上) <p style="text-align: right;">【視点1】</p>
<p>指針2 体験活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り活動など異年齢集団の活動を充実させる。 「児童会活動」「クラブ活動」「縦割り活動」「異学年の交流学习」などの「異年齢活動」をより自主的、意欲的に行うようにする。 <p style="text-align: right;">【視点3】</p>
<p>指針4 豊かな感性や情操の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書に親しむ機会の充実 読書の楽しさに親しむ機会の充実を図り、子どもたちの表現力や想像力を高めて、豊かな感性を育む。 「読書タイム」「読み聞かせ」「国語科重点研究」など。 <p style="text-align: right;">【視点11】</p>